

あくせす news

第 292 号
2026 年 10 月 14 日
発 行 者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす

秋麗の候、朝夕の風に秋の深まりが感じられ、どんぐりを目にする季節となりました。色づき始めた木々や落ち葉に、秋の風景が少しずつ広がっています。さて、先生方にはいつもあくせすをご利用いただき、ありがとうございます。入院・外来・特殊外来（検査のみ）とともに電話またはFAXで受付けております。引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。



Photo By N

呉市医師会病院 関係医師懇談会（9月24日） 報告



『地域包括ケアシステムの深化に向けた リハビリテーション医療の意義と役割』

広島大学病院リハビリテーション科 教授 三上 幸夫 先生

9月24日（木）、呉市医師会館講堂にて三上 幸夫先生（広島大学病院 リハビリテーション科 教授）を特別講師にお招きし、講演会を開催しました。はじめに広島大学病院のリハビリテーション科の紹介がありました。リハビリを必要とする患者が増えており、それに伴いリハビリスタッフの増員や体制の強化について説明がありました。続いて医療・介護の現状と地域包括ケアシステムについて詳しく解説いただきました。早期離床・早期リハビリテーションの実践がADLやQOLの向上のみならず、生命予後の改善にもつながることを、動画やグラフを用いて分かりやすく示されました。また、医療保険の急性期リハビリテーションから、介護保険を中心とした生活期リハビリテーションまで、それぞれの時期に応じた支援の必要性について解説されました。最後に、2040年を見据えた地域包括ケアシステムの深化についてお話しいただきました。医療・介護・住まい・生活支援を包括的に確保し、多職種・多機関が連携して支える体制を構築していくことの重要性について理解を深める貴重な機会となりました。



会員と職員の集い REIWA 8

11月12日(木) 19:00～ 呉市医師会館 5階講堂

会員と職員の集いを今年も開催します。職員一同会員の先生方にお会いできるのを楽しみにしています。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

【問い合わせ先】呉市医師会 総務課 ☎(0823)22-2326

■今後の関係医師懇談会（予定）■

- ・日時 令和9年1月26日（火）
- ・演題 「気管支喘息の最新トピックス」
- ・講師 岩本 博志 先生（広島大学大学院医系科学研究科 分子内科学 教授）

★9月1日～9月30日★

※届出日数（一般病床）

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
102.4 人	68.3%	17.3 日	85 人	137 件



●第18回 下部尿路症状の排尿ケア講習会（8月11日）●

排尿自立支援加算、外来排尿自立指導料に関する講習会に参加して

皮膚・排泄ケア認定看護師 岡野 純子



排尿自立支援加算は、尿道カテーテル抜去後に排尿障害がある患者さんや、抜去後に排尿障害が起こると見込まれる患者さんに対し、多職種で包括的な排尿ケアを行った場合に算定する加算です。

2016年「排尿自立指導料」が新設され、排尿ケアチームで「排泄の自立」を目指す取り組みが始まりました。その後2021年「排尿自立支援加算」「外来排尿自立指導料」へ変更し、条件の緩和や算定対象の拡大、外来での継続など、件数の増加や指導による効果が期待できるものになりました。

大切なのは「排泄の自立」であり、寝たきりや完全失禁ではなく本人の意志やある程度の補助で排泄行動を取り戻すことです。

当院は排便に悩む患者さんが多く、専門的治療やケアをはじめ、排便、排尿、性へつながる骨盤内の機能に関わるケアを行っています。

今後も呉市の中で包括的な排泄ケアを担える病院として、患者さん一人ひとりに寄り添ったケアについて考え、また、人材育成にも取り組んでまいりたいと思います。



エコーで残尿を確認中

演題発表

●第17回 呉地区 栄養サポート研究会（9月5日）●

当院におけるミールラウンド（お食事ラウンド）の成果報告について

摂食・嚥下障害看護認定看護師 平尾 知美



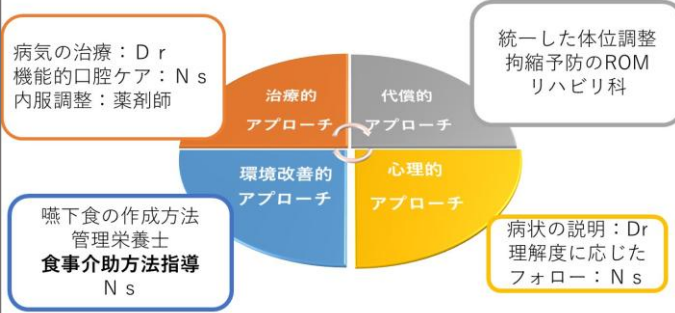
第17回呉地区栄養サポート研究会に参加し、地域での実践に基づく一般演題として「当院におけるミールラウンド（お食事ラウンド）の成果報告について」発表しました。

当院の入院患者さんの多くは後期高齢者です。既往症をはじめ、加齢による廃用や低栄養、認知機能低下といった様々な問題をかかえており、単純に食事内容を変更しても改善しない症例が多いのが現状です。そこで当院では、栄養サポートチーム（NST）が主体となり、月に2回、多職種で患者さんのベッドサイドに伺うミールラウンドを行っています。ミールラウンドとは患者さんの栄養状態や食事摂取の観察、嚥下状態の評価を行い、それらの対策を行うことで栄養状態の改善に繋げることを目的としており、当院では独自に作成したお食事連絡票や包括的アセスメントツールを使用して、多職種カンファレンスを行い評価し実施しています。今後もミールラウンドを発展・活性化させ「しっかり食べて、しっかり出す」をスローガンに、その人に合わせた食べるための支援を病院全体で取り組んでいけたらと考えます。

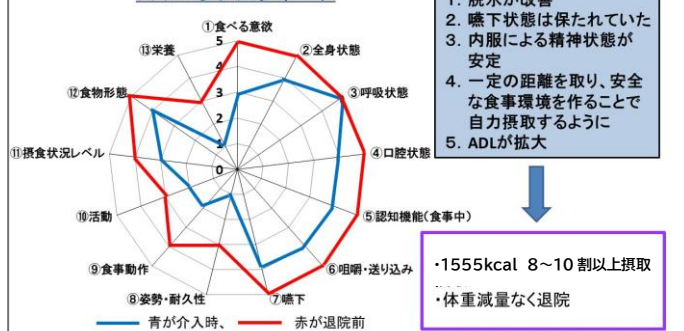


ミールラウンドの様子

多職種のアプローチ内容



KTバランスチャート



呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通)
FAX (0823) 32-7507

院長 先本 MSW 森下 MSW 竹場 MSW 野瀬 MSW 菅原
室長 中間 事務 井上 事務 岩畔 事務 村田 事務 石丸